

FOR IMMEDIATE RELEASE

<プレス・リリース>

配信日 2022 年 2 月 10 日

プレス担当：

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

ジャパン・ソサエティー (JS)  
舞台公演部 2021-22 年度シーズン

しょうみょう  
現代 聲明：イマーシブ体験  
らせんまんだらかいえ  
『螺旋曼荼羅海会』

Shomyo: Buddhist Ritual Chant – Special Mandala Ceremony

2022 年 2 月 24 日 (木) ~ 27 日 (日)  
全 12 回公演

於：ジャパン・ソサエティー内 劇場  
(333 East 47<sup>th</sup> Street, New York, NY 10017)

ジャパン・ソサエティー (JS) 舞台公演部は、2 月 24 日から 27 日の 4 日間・全 12 回にわたり、サウンドとビジュアルのイマーシブ体験、『現代聲明：螺旋曼荼羅海会』を開催します。聲明とは、6 世紀にインドからシルクロードを渡って日本に伝来した密教の修行・儀式の一環で、法要の際に僧侶

が仏典に節（ふし）をつけて歌う声楽のこと。この独特な音律にのっとなって若手作曲家・桑原ゆうが創作した現代聲明「螺旋曼荼羅」が、在 NY のサウンド／ビデオ・アーティスト、テイ・ブロウによって曼荼羅画像や聲明楽譜などのビジュアルと相まった五感体験になって繰り広げられます。ブロウが扱う音源は、現代聲明のコンサート活動で知られる「聲明の会・千年の聲」の 21 名の仏僧たちの声。観客は舞台上にしつらえた瞑想スペースでクッションにくつろぎながら、荘厳な仏教音楽の世界を体験します。

日本の聲明は、平安時代の初期に天台宗を興した最澄と真言宗を起こした空海が伝えたものが現在まで継承されており、天台聲明と真言聲明が聲明の二大流派となっています。聲明の会・千年の聲は、1997 年、真言宗の僧侶・弧島由昌と新井弘順、そして天台宗の海老原廣伸と京戸慈孝の四人が宗派を超えて結成した「聲明四人の会」が発端です。聲明をコンサート音楽として一般の耳に届けることを目的に活動を始め、その後、中堅・若手の成長に伴い会の名称を「聲明の会・千年の聲」と改めました。古典作品の紹介はもとより、現代作曲家に新作聲明の委嘱も精力的に行い、その活動は日本国内に限らず世界各地のコンサートホールに及んでいます。

桑原ゆうは、聲明に新たな息吹を吹き込む若手作曲家の一人です。日本人ならではの全く新しい形の音楽的方法論を探求する彼女の作品は、20 名の僧侶の合唱による音楽法要のための『レクイエム』や三味線音楽『風の陀羅尼』『弦の陀羅尼』『越後獅子幻想』等、高い評価を得ています。日本の芥川也寸志サントリー作曲賞受賞のほか欧州での国際作曲コンペティションでの優勝や入賞も多数。JS のプログラムで桑原の作品を取り上げるのは、2018 年の本條秀慈郎三味線公演、2020 年のバーチャル・コンサート『聲明：月の光言』に続く 3 度目になります。

テイ・ブロウは作曲家、メディア・デザイナー、パフォーマンス・メイカーとして活動しており、その作品は BAM、パブリックシアター、リンカーンセンター・フェスティバル、バリシニコフ・アーツセンター、ザ・キッチンなど多くの場で発表されています。演劇、ダンス、アート作品などの幅広いジャンルを手掛け、アメリカ国内に限らずヨーロッパなど世界的に活躍の場を広げています。

本公演は、JS 内の劇場にて実施されます。観客間の十分な距離を確保するため、各公演は定員 30 名までといたします。各公演の開始時間は下記のリスティング・インフォメーションをご覧ください。会場には瞑想用のクッションに加えて、多少の椅子またはベンチをご用意いたします。（なお、本公演はコロナ禍の影響のため「聲明の会・千年の聲」のライブ出演ではなく、同会の過去のコンサートの録音を使用したサウンドとビジュアルの体験型プレゼンテーションとなります）。

## 【リスティング・インフォメーション】

しょうみょう らせんまんだらかいえ  
現代 聲明 : イマーシブ体験—螺旋曼荼羅海会

## Shomyo: Buddhist Ritual Chant – Special Mandala Ceremony

日本語公演、英語字幕

日時：2022年2月24日（木）午後6時、午後8時

2022年2月25日（金）午後5時30分、午後7時30分

2022年2月26日（土）午後2時、午後4時、午後6時30分、午後8時30分

2022年2月27日（日）午後12時30分、午後2時30分、午後4時30分、午後7時

チケット料金：一般\$15/JS会員\$12

ボックスオフィス：212-715-1258

月曜～金曜 午前9時～午後5時

またはJSウェブサイト [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

会場：ジャパン・ソサエティー内、劇場（333 East 47<sup>th</sup> Street, New York, NY 10017）

## 【アーティスト・プロフィール】

桑原ゆう（くわばら ゆう） 作曲家

2007年、東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業し、アカンサス音楽賞受賞。2009年、同大学大学院音楽研究科(修士課程)修了。佐藤眞、久行敏彦の各氏に師事。在学中より国内外の音楽祭、セミナー等に参加し作品発表を始める。第74、75、78回日本音楽コンクール作曲部門入選、第9回東京国際室内楽作曲コンクール入選、シュテファン・フツソング アコーディオンワークショップ公募入選など。2009年度トーキョーワンダーサイト国内クリエイター制作交流プログラムに選抜され、2009年から2010年にかけて、トーキョーワンダーサイト青山クリエイター・イン・レジデンスにて活動を行う。2015年、ミラノ国際博覧会における Feeding Music International Composition Competition 入選、イタリアパビリオンで新作が初演された。一部の作品は、ドイツの Edition Wunn より出版されている。近年、声明や神楽、民俗芸能等の取材を重ね、それらを扱う作品の発表や、同世代の演奏家と立ち上げた音と言葉のあわいを描くクリエイショングループ「淡座」の一員として古今亭志ん輔氏との公演を重ねるなど、日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを主なテーマに創作を展開するなど、様々な分野と交流し創作活動を行っている。

## 聲明の会・千年の聲（しょうみょうのかい・せんねんのこえ）

1200年の伝統を誇る日本の音楽の貴重な財産である「聲明」。その伝統の継承と発展を目的に、1997年日本の聲明の二大潮流を成す真言宗・天台宗の指導者らが宗派を越え「聲明四人の会」を結成、その後、中堅、若手の著しい成長にともない会の名称を「聲明の会・千年の聲」と改め、更なる飛躍を目指している。定期公演「千年の聲」を基盤に、古典作品の紹介と優れた作曲家に委嘱する新作聲明を発表し、聲明のもつ伝統の深さと現代への可能性を追求している。CDリリースに、コンピューター・ミュージックからオペラ、オーケストラ作品まで多岐にわたる作品で知られる鳥養潮作曲「阿吽の音」「存亡の秋」（ビクターエンターテイメント）がある。

## テイ・ブロウ（Tei Blow）マルチメディア・デザイナー

ブロウは作曲家、メディア・デザイナー、パフォーマンス・メイカー。ブロウの作品は、独自の楽曲と見つけてきた音や画像の素材を、使われなくなった古いテクノロジーや生身の人と組み合わせて再創作する。これまでに出演とデザインを手がけたカンパニーに、The Laboratory of Dmitry Krymov、ミハイル・バリシニコフ、ジョディ・メルニック、ビッグ・ダンス・シアター、デヴィッド・ニューマン／Advanced Beginner Group などがある。ブロウの作品はこれまでに、ハートフォード・ステージ、ダンスシアター・ワークショップ、PS122/PSNY、リンカーンセンター・フェスティバル、ザ・キッチン、BAM、パブリックシアター、ブロードステージ、MCA シカゴ、MFA ボストン、ケイト・ワープル・ギャラリー、バリシニコフ・アーツセンター、ラウンドアバウト、Wadsworth Atheneum を始め、世界中の劇場で発表されている。受賞歴には、2019年バリシニコフ・アーツセンター Cage/Cunningham Fellowship、2016年 NYSCA Composer's Grant、2015年 New York Dance Performance “Bessie” Award for Outstanding Sound Design（対象作品：デヴィッド・ニューマン／Advanced Beginner Group 「I Understand Everything Better」）など。ブロウはデュオ・グループ Royal Osiris Karaoke Ensemble のメンバーの1人で、同グループのシリーズ作品「The Art of Luv」は、Creative Capital and Franklin Furnace Awards を受賞した。

### 【舞台公演部について】

JS 舞台公演部は、1953年の創部以来、雅楽、能、歌舞伎、人形劇、三味線や落語などの古典芸能から最先端の現代劇、実験音楽やポップ・ミュージック、コンテンポラリー・ダンスまで、あらゆるジャンルの舞台公演を企画し、当館内劇場にて主催上演し、これまで1000種に近いプログラムを米国の観客に紹介してきました。また、招聘したアーティストや団体のために巡回公演（ツアー）をプロデュースすることで、ニューヨークを越えた北米全土に対して日本の舞台芸術を紹介する役割をも果たしています。日本の優秀な若手アーティストにとっては国際的キャリアの登竜門として、また米国

人アーティストには新作委嘱や交換レジデンスなどを通じてより深い日本理解の機会を与える貴重な機関として、日米の舞台芸術界に比類のない貢献をしています。

JS 舞台公演部は、2022 年春には下記の通り、日本の国際的なアーティストを招聘し、先住民族の文化に焦点を当て、日本の最南と最北の県である沖縄と北海道より、それぞれ先住音楽や踊りを紹介します。

- 沖縄返還 50 周年記念 『時を超えた波音—沖縄の伝統舞踊と音楽』 (2022 年 3 月 18 日、19 日)
- コンサート『OKI：アイヌの音楽』 (2021 年 5 月 6 日)

### 【JS について】

JS は、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々とつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されている JS 本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。1907 年以来、JS では「きずな（絆）」の考えのもとに、革新的な次世代クリエイターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となること、そして日米間の相互理解の促進と絆を深めることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org) をご覧ください。

JS は今年、ニューヨークのランドマークである本館設立 50 周年の記念して新しいロゴマークを導入いたしました。JS が文化や人種、時を超えてつながりを作っていく基盤となることを願い、「JS」の文字の重なりと線と形の連結を用いて、絆というコンセプトを打ち出しています。

### 公式 SNS アカウント：

Facebook：[facebook.com/japansociety](https://www.facebook.com/japansociety)

Instagram：[@japansociety](https://www.instagram.com/japansociety) and #japansociety

Twitter：[@japansociety](https://twitter.com/japansociety)（英語）／[@js\\_desu](https://twitter.com/js_desu)（日本語）

その他、詳しい情報は弊社ウェブサイト <http://www.japansociety.org> をご参照ください。

住所 333 East 47<sup>th</sup> Street (1 Avenue と 2 Avenue 間), New York, NY 10017

最寄駅は地下鉄、4/5/6 番ライン、7 番ラインのグランドセントラル駅、あるいは E か M ラインのレキシントン街・53 丁目駅。代表電話 212-832-1155 / ウェブサイト [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

\*\*\*

## 取材申し込み：

上記公演の取材をご希望の方は、事前に必ずプレス担当：マリカ／ロッドマンまでEメールで ([EMarica@japansociety.org](mailto:EMarica@japansociety.org) / [ARodman@japansociety.org](mailto:ARodman@japansociety.org)) お申し込みください。尚、プレス席には限りがございます。満席の場合はご容赦ください。

\*\*\*

2021-2022年度のJS舞台公演部は、  
以下の財団・基金・企業および個人より支援・後援をいただいています。

### **Support for 2021-2022 Performing Arts Season**

*Lead Sponsor: MetLife Foundation. This season is made possible, in part, by public funds from the New York City Department of Cultural Affairs in partnership with the City Council and the New York State Council on the Arts with the support of the Office of the Governor and the New York State Legislature. Major support is generously provided by Doug and Teresa Peterson, with endowment support from the Lila Wallace-Reader's Digest Endowment Fund and the Endowment for the Performing Arts, established with a leadership gift from the Doris Duke Charitable Foundation. Additional support is provided by Helen and Kenneth A. Cowin, Dr. Jeanette C. Takamura, Dr. and Mrs. Carl F. Tausch II, Mr. Alan M. Suhonen †, Sarah Billinghamurst Solomon and Howard Solomon, Paula S. Lawrence, Dr. Stephen and Mrs. Michiko Levine, Marjorie Neuwirth, Hiroko Onoyama, Lyndley and Samuel Schwab, Nora and David Tezanos, and Nancy and Joe Walker. Transportation assistance is provided by All Nippon Airways Co., Ltd. Yamaha is the official piano provider of Japan Society. MetLife Meet-the-Artists Reception is provided by MetLife Foundation.*

*† In memoriam.*

*Shomyo: Buddhist Ritual Chant—Spiral Mandala Ceremony is supported, in part, by an award from the National Endowment for the Arts and Doug and Teresa Peterson.*